組合活性化情報

中小企業しが

2023.
12
No.669

Cover

中央会トップセミナー

北村会長

講師 馬渕磨理子 氏

中央会つうしん

▶トップセミナー
▶成安造形大学との産学連携の取組紹介
▶インターンシップセミナー
▶ECサイト活用セミナー
▶近畿ブロック中央会会長会議
▶秋の叙勲・褒章受章者等のご紹介
▶中央会事務局だより
▶新春メッセージ募集
▶ものづくり支援室だより
▶DX・GXの取組紹介
協同組合カーテクセンター湖北
滋賀県産業振興協同組合

業界et cetera

▶浜縮緬工業協同組合
▶滋賀県麻織物工業協同組合

安全なまちづくり特集

▶彦根巡礼街道商店街振興組合
▶滋賀県広告美術協同組合

ネットワークで中小企業をサポート
滋賀県中小企業団体中央会 発行
https://chuokai-shiga.or.jp/

中央会トップセミナー

「中小企業経営に必要な視点と今後取るべき戦略」開催

当会では、毎年恒例となっている「中央会トップセミナー」を11月8日㈬大津市・びわ湖大津プリンスホテルにおいて開催し、150名の参加をいただきました。

今年度は、北村会長より開会挨拶が述べられた後、年間150社以上の中小企業等を取材され、フジテレビ「LIVE NEWS α」コメンテーター等でもご活躍の経済アナリスト馬渕磨理子 氏を講師にお迎えし、「中小企業経営に必要な視点と今後取るべき戦略」をテーマにご講演をいただきました。

講演では冒頭、滋賀県野洲市出身ということもあって地元で暮らしていたころのエピソードを交えながら、「三方良し」の精神にも通じるものがあるSDGsを企業経営に取り入れる普及活動を行っていると述べられました。

経営に必要な視点には「国の政策・業界動向」「人的資本・ガバナンス」「リスク管理」「税金・補助金の知識」「ファイナンスの知識」の5項目を挙げられ、特にリスク管理の重要性を訴えられました。近年コロナやウクライナ情勢で危機に対する感度が高まっている中、BCPの策定など収益を上げることとは無縁に見える災害などのリスクに備えることが新たな価値を生み出すとのこと。BCPを策定することは従業員のリスク意識向上に繋がり、これにより経営者がより経営に集中する環境を生み出せるようになるため、組織改革の意識を持って取り組むことが重要となると述べられました。

また、高度経済成長期は幸福度と豊かさが比例していたが、web技術などが成熟し人間の幸福度が頭打ちになっている現状においては、多様性や共感性を重視する社会へと切り替わっていく。これがSDGsの注目される理由の一つとなっているが、あくまでツールの一つに過ぎず、主役は実体経済を担い手である。企業はSDGsなどを通して自らの方針を発信することが重要で、理解が得られれば地域の金融機関の信頼を勝ち得て融資を受けやすくなるほか、昨今の環境意識が高い求職者を獲得し競争力を高めることができると述べられました。

最後に、固定観念は経営の萎縮に繋がるため、型にとらわれず自らの経営理念を貫いてほしいとしてセミナーを締めくくられました。

北村会長による開会挨拶

講師 馬渕磨理子 氏

講演風景

会場の様子

成安造形大学との産学連携の取組紹介

令和５年10月20日㈮、大津市・成安造形大学において開催された大学説明会に、産学連携の一環として中央会会員等11名が参加しました。今回は、同大学との連携に高い関心を示されている会員組合と学生６名を含む大学関係者との対話形式で開催したものです。

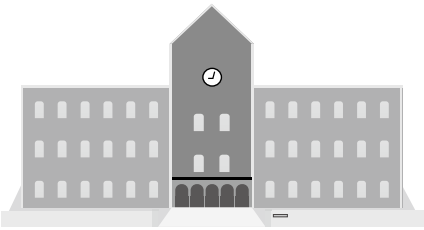
冒頭、学科構成（６領域16コース）、基本理念（芸術による社会への貢献）、基本理念を具現化する「未来社会デザイン共創機構」とその役割（より良き社会の実現のために主体的に考え、行動し、提案するクリエイター像を顕在化する）について紹介されました。

続いて、YUI Lab（芸大生の地域貢献の事例）と、たねや共創プロジェクト（芸大生が社会で発揮できる能力の事例）について、それぞれ３名の学生から発表がありました。

その後、デザイン思考について大学関係者から補足説明をいただいたうえで、感想・質問を述べるワークショップを開催したのち、「コミュニティスペース結」に会場を移動、参加事業者と学生・教職員で懇親会を開催しました。

また、令和５年11月７日㈫には、同大学の講義へ、当会の会員3組合計５名の方が出講されました。この講義は、就職活動に向けて全14回の講義を通じて第三者に自分のことを適切に伝えられるよう実践訓練を重ねるもので、５回目となる当日は3組合の組合概要や事業所の紹介に続き、グループワーク（学生４～８名と出講者１名）を実施。学生の自己PRに対し、出講者から印象やアドバイスが伝えられました。

出講者からは、お一人約５分と短時間ながら、中小企業や組合について受講者約100名へPRいただくことができました。また、ワークショップは、１時間弱の大学生との対話を通じ、地域中小企業の仕事についての経験を伝えるとともに、学生の多様な感じ方や考えに触れていただく機会となりました。



大学説明会の様子

ワークショップの風景

講義の受講風景

グループワークでのアドバイス

インターンシップセミナー　開催

当会では11月１日㈬、草津市・キラリエ草津において、「良い採用とインターンシップの関係性」と題してセミナーを開催しました。本セミナーは、良い採用のために必要なことをお伝えし、その具体策としてインターンシップについて改めて意義や事例を紹介し、採用について考える機会を提供することを目的として開催したものです。

前半は株式会社いろあわせ代表取締役の北川雄士 氏に講演をいただき、インターンシップを取り巻く環境や企画で抑えるべきポイントなどを紹介し、後半はワークショップを行い、自社でのプログラムシミュレーションを行う時間を設け、参加者にとって実践に繋がる学びの場となりました。

県内各大学と産学連携を進める当会では、今後もインターンシップに係る県内の状況やノウハウを紹介し、人材確保を進めていくための手段を提供していく予定です。

講師 北川雄士 氏

ワークショップの様子

ECサイト活用セミナー　開催

当会では10月30日㈪、草津市・クサツエストピアホテルにおいて、中小企業団体ＤＸ推進事業の一環として、ＥＣサイト活用セミナーを開催しました。

全２回の第１回目となる今回は、これからＥＣサイト活用を考えられる中小企業者向けの内容として、ＥＣ（電子商取引）市場の現状や、出店方法別のＥＣの種類、販売促進やＳＮＳを活用した集客方法のほか、スマートフォンを使った商品写真の撮影実践など、はじめてＥＣサイトを出店する上で必要となる「ＥＣサイト概論」について、講師のKURU Design 代表 松尾千鶴 氏から解説がありました。ＥＣ市場はコロナ禍で急拡大して現在も流通量は多い状態が続いており、今後も拡大していくことが予測されています。また、新たなＥＣ活用の手法としてクラウドファンディングも紹介されました。

第２回目のセミナーは来年１月25日㈭にLINEヤフー㈱や情報発信拠点ここ滋賀を講師にお招きして開催する予定をしており、当会ホームページ及び書面にて改めてご案内しますので是非ご参加ください。

講師 松尾千鶴 氏

会場の様子

近畿ブロック中央会会長会議　開催

当会では11月14日㈫、大津市・石山寺及び日本料理新月において、近畿ブロック中央会会長会議を開催しました。これは福井県を含む近畿２府５県が輪番制で開催している会議で、今年度は当会が当番県となり開催したものです。

平安時代、紫式部が石山詣をして、中秋の名月を愛でながら「源氏物語」の構想を練ったと言われる石山寺を散策した後、会場を移し、全国中央会森会長のご挨拶に続いて全国中央会佐藤専務理事から中小企業等を取り巻く諸情勢についてご報告いただきました。

意見交換の場では、対応すべき課題の情報共有のほか、再来年に迫った日本国際博覧会についての動向や、来年の第76回中小企業団体全国大会を主催する福井県中央会から報告やＰＲが行われました。

石山寺を散策する様子

会長会議の風景

令和5年

秋の叙勲・褒章受章者等のご紹介
“ご受章／ご受彰おめでとうございます”

滋賀県中央会に関係する方々をご紹介いたします。（五十音順）

旭日小綬章

髙村　　潔 氏
元　八日市商工会議所　会頭
現　滋賀県室内装飾事業協同組合　監事

黄綬褒章

榊田　隆之 氏
現　京都信用金庫　理事長

谷　　節雄 氏
現　谷庄建設株式会社　代表取締役
元　滋賀県建設事業協同組合　副理事長

平柿　宗敏 氏
現　株式会社平柿文仙堂　代表取締役
現　滋賀県書店商業組合　理事

卓越した技能者（現代の名工）

長谷川成幸 氏（かわらふき工）
現　株式会社長谷川　代表取締役
現　滋賀県瓦工事協同組合　代表理事

滋賀県技能者表彰（おうみの名工）

池田　正男 氏（理容師）
現　ヘアースタジオC4　代表
現　滋賀県理容生活衛生同業組合　副理事長

木村　数茂 氏（金属彫刻工）
現　木村金具店　代表
元　彦根仏壇事業協同組合　理事

◆ 中央会事務局だより ◆

ものづくり支援室　壷井室長

お世話になっております。ものづくり支援室の壷井でございます。私は、ものづくり補助金の地域事務局としての業務にあわせて、地域の中小企業と大学とをつなぐ産学連携業務を担当させていただいております。

今回の事務局だよりのテーマは「チャレンジ・ステップアップ」ということで、まずは私事から。長男は早いもので大学受験を控えており、大学へのステップアップを目指して頑張っていますし、次男は大好きなスイミングで苦手なクロールの息継ぎが上手くできるようチャレンジしています。そこで私はというと、「体を鍛える・運動すること」を掲げていましたが、ダラダラとまったくできておらず、残り少しですが、２人の息子を見習って、頑張っていきたいと思っています。

さて、今年度の業務についてですが、「人材確保に係る企業の魅力発信とインターンシップの活用」について取組中です。コロナ禍が明け、様々なことが動き始め、ますます人材不足が深刻化している中、企業の魅力をしっかりと整理し発信することが大変重要だと考えています。業務の中で、大学の教職員や学生と接することが多くありますが、これだけ情報があふれている中にもかかわらず、日本の経済を支える多くの中小企業についてはほとんど知られていません。しかし、大学教職員も学生も、常に新しい情報を探しています。まずは、皆様が自社の魅力を再認識され、様々なツールを使った発信にチャレンジいただき、そして、中央会にて、地域の中小企業の様々な魅力を伝える事業を企画し、しっかりと発信のサポートをさせていただければと考えています。

ものづくり支援室はコラボしが21から少し離れていますが、お気軽にお越しいただき、ものづくり補助金や大学との連携についてご相談ください。

新春メッセージ募集中!

中小企業しが１月号では、滋賀県知事や当会の正副会長・青年中央会会長・女性中央会会長の新春メッセージを紹介いたします。

会員（組合・団体）の皆様からもメッセージを中央会webサイトで紹介いたしたく、昨年に引き続いてご寄稿を募集しております。

令和６年を迎え、新春に想うことや新しい年を迎えた抱負などをお寄せください。

１．テーマ：「令和６年を迎えて～今年の抱負～」
新春・新年度の展望、抱負、組合（業界）に関することやご自身についてなど、新春のメッセージをご寄稿ください。

２．字　数：250字程度

３．締切り：令和５年12月11日㈪

詳しくは中央会お知らせページをご覧ください。

https://chuokai-shiga.or.jp/message2024/

ものづくり支援室だより　第37回

全国中小企業団体中央会主催

ものづくり補助事業展示商談会
「中小企業　新ものづくり･新サービス展」開催について

「ものづくり補助事業」に取り組んだ全国の中小企業が新たに開発した製品・サービス・技術等と、それをビジネスに活用したい人を「つなぐ」ための展示商談会です。
現在、来場者の登録受付中です。多数のご参加、お待ちしております。

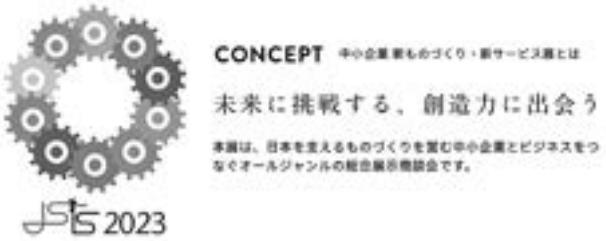
日　程：2023年12月6日㈬～8日㈮
1日目　11：00～17：00
2日目　10：00～17：00
3日目　10：00～16：00

会　場：東京ビッグサイト西1・2ホール

出　展：560ブース（予定）

主　催：全国中小企業団体中央会

後　援：経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構、一般社団法人日本経済団体連合会、株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策金融公庫、日本商工会議所、　全国商工会連合会、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、独立行政法人国際協力機構（JICA）、都道府県中小企業団体中央会



※詳細の情報については、
こちらよりご確認ください。→

今年度募集しました中小企業組合DX推進支援事業補助金／中小企業組合GX推進支援事業補助金の取組事例をご紹介します。

DX

組合工場の稼働率の最適化を目指して車検オンライン予約システムを開発

協同組合カーテクセンター湖北

協同組合カーテクセンター湖北（理事長 藤本宜子 氏）では、車検オンライン予約システムを開発され、本稼働を開始されました。

組合では、工場の車検予約はこれまで電話やFAXで受付し、ホワイトボードで管理されてきましたが、入庫台数に大小が発生し、利益率が低下していました。これを解決すべく、組合員がオンライン上で予約状況を確認し、新規予約を登録することができるシステムを開発。システムの稼働により、工場稼働率の最適化が実現し、年換算で41万円の収益改善を図られました。この他、組合職員・組合員従業員それぞれの残業時間削減、働き方改革にも寄与し、予約事務の効率化は入庫台数の増加にもつながっています。

組合では今後、予約の時間帯指定や車検回数の入力項目を追加するなどシステムに改良を加え、更なる事務効率化を図られる予定です。

オンライン予約システムの画面

組合の車検工場

GXの実践機運の醸成を図りセミナー開催と啓発資料を作成

GX

滋賀県産業振興協同組合

滋賀県産業振興協同組合（理事長 北村嘉英 氏）では、令和元年のSDGs宣言以降、組合が主導して啓発に取り組み、組合員の商品開発にも寄与されていますが、この度、脱炭素社会の実践機運を高める一環としてGX推進事業を実施されました。

組合員向けの啓発セミナーは９月22日㈮、草津市・クサツエストピアホテルにおいて「CO_2ネットゼロ社会を目指してエコドライブ推進」をテーマに行われました。講師の 本江宗明 氏からはCO_2排出割合の大きい自動車に注目し、エコドライブはエンジン回転数の抑制やアイドリングストップといった運転技術だけでなく、渋滞の回避や不要な荷物の削減といった行動変容も重要であることが述べられました。

今回の事業で作成されたポスターやリーフレットには、セミナーで紹介された10のアクションと取り組むことで生み出される４つのメリットが記載され、組合では組合員の従業員にも浸透するよう啓発を図られています。

講師 本江宗明 氏

作成された啓発ポスター

組合webサイト
https://shiga-ipc.jp/

DX・GXの事例を積極的に紹介しています。実施予定の組合様は内容を含めて担当職員に情報をお寄せください

景況レポート

中小企業団体情報連絡員報告より

令和5年 10月分

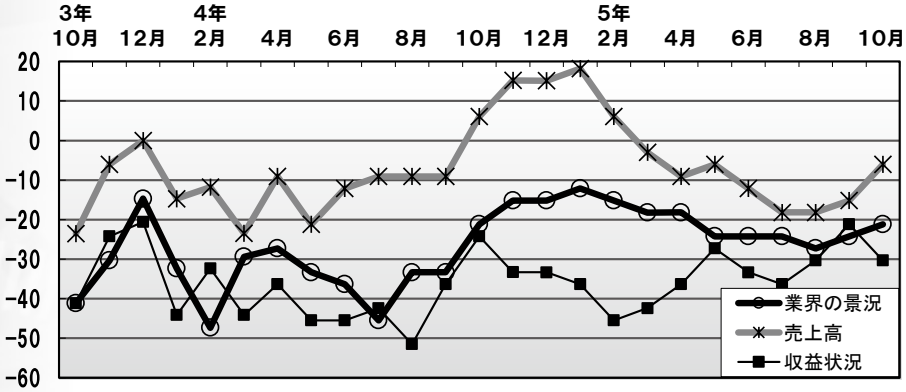
前年同月比のＤＩ値	県内 全体	県内 製造業	県内 非製造業
業界の景況	－21.2	－21.4	－21.1
売上高	－6.1	7.1	－15.8
収益状況	－30.3	－28.6	－31.6

※DI（Diffusion Index）値とは、景気の動きをとらえるための指標です。（－100≦DI値≦100）
DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合－減少・悪化と答えた企業の割合
【例：調査数「20」のうち好転が「４」、不変が「６」、悪化が「10」とした場合…（４－10）/20＊100＝－30】

DI値が	＝30以上	＝10以上30未満	＝－10以上10未満	＝－30以上－10未満	＝－30未満

（滋賀県内の景況DI値につきましては、県内33名の情報連絡員からの回答に基づき掲載しています。）

前年同月と比較した滋賀県内のDI値の推移



県内の景況推移

食品や印刷など製造業において売上高は増加したがエネルギー・原材料価格上昇等により景気の好転には寄与していない。季節需要は業種を問わず概ね好調。最低賃金が引上げられ、人件費の増額に苦慮する報告が散見される中、建設業にあっては多くの組合で人材確保を課題とする記述があった。

県内業界の声をピックアップ

菓子製造	各地でイベントや行事が行われ人出が多く、売上高、収益状況はやや好転したが、燃料費や光熱費の経費が重くのしかかっている状況。
電気機械器具卸売	10月は記録的な残暑の影響でシーズンオフながら夏に売れ残ったエアコンが売れたが、得意先での動きであり、卸売としては期待するほどではなかった。戸建て新築及び住居関連の設備・照明については引き続き低調。得意先によっては財務状況が悪化しているようで、今後の回収に対して不安がある。
広告業	秋から年末にかけての需要期に入ったこともあってか、インフレならびに人件費高騰に伴う経費増を販売価格に転換することが徐々に出来てきている様子。ただ、海外情勢や円安等様々な複合要因が原材料価格を高止まりさせている状況下で収益状況の好転は未だ見えない。
旅館・ホテル	10月後半から紅葉需要もあり客数増加。今年はインバウンドも好調で台湾、香港、韓国などが中心。愛知県などからラーケーション※を使用した需要も見え始めたことから、組合で研修会を開催した。※「学習（ラーニング）」と「休暇（バケーション）」を組み合わせた校外での自主学習活動。愛知県では年３日まで取得が可能。

全国特定地域づくり探訪

●地元自治体からの働きかけにより定款変更を経て特定地域づくり事業を開始

下川事業協同組合

住　所	〒098-1207 北海道上川郡下川町錦町107番地			定款変更認可	令和２年６月（設立：昭和25年２月）
認　定	令和３年２月	組合員数	16名（令和５年３月時点）	出 資 金	１口100円
組合員の業種	小売業、サービス業、製材業、農業	特定地域づくり以外の事業	共同購入、共同販売、共同商品券発行		

背景と目的

下川町では高齢化が進んでおり、働き手不足が深刻な課題となる中、役場が積極的な移住支援施策を講じていたが、移住者を増やすためには仕事を用意する受け皿が求められた。本制度利用先事業者を探すため、商工会を通じて町内事業者に説明会が行われ、後に役場から地元の16事業者が加入する当組合に声がかかった。当組合は地元密着の事業を営んでいるが、２年前に指定管理事業から撤退したことで財政が苦しい状態に陥っており、本制度の利用が財政好転のきっかけになるものと考えた。

取り組みの手法と内容

当組合は既存組合であるため、定款に「特定地域づくり事業」を追加して行政の認可を受ける必要があり、北海道中央会が支援を行った。その他、本事業の認定や派遣届出の手続きについては非常に煩雑な書類作成が求められたが、町の政策スキームの一部となっていることから職員の全面的なサポートを受けた。就業規則は社会保険労務士と相談して作成した。

当組合の募集する人材像は「マルチワークがしたい人」ではなく、「この町でフルタイムで働き、月20万円を稼ぎたい人」である。また、派遣職員の引き抜きとみられないよう、町内での募集はしない方針を取っている。移住者受入れの実務は町が担当しており、移住政策の関係から町内に住むことが基本とされ、町外からの通勤は認めていない。

〈採用者情報〉

	性別	年代	出身・前居住地	採用応募経路	備考
A	女性	40代	東京都からの移住（Uターン）	ハローワーク	アルバイトをしていた
B	男性	20代	組合のある市町村内に現住	紹介	アルバイトをしていた

当組合では実際に人手不足に悩む事業者は一部でしかなく、移住希望者がいればそのために仕事を用意するスタンスをとる。派遣シフトは曜日交代制を採用し、派遣料金は業種別に900円から1,500円で設定している。事業推進のキーマンは理事長であり、派遣元責任者、キャリアコンサルティング、派遣職員と事務局とのコミュニケーション役、派遣職員と派遣先の調整を理事長が行っている。賃金体系は派遣先・均衡方式を採用し、公務員給与水準に近づけることを目標としている。

成果とその要因

特定地域づくり事業協同組合制度を利用して、前期は黒字転換するなど、組合の運営にプラスに寄与している。また、既に退職した２名については町内で就業しており、町の人口増加にも寄与している。

今後、派遣職員が安定して集まってきたら、町が運営しているトマト加工場を受託管理するなど、町の仕事を一手に引き受けて、町の経済活性化に寄与したいとの思いがある。

※本事例は総務省の特定地域づくり事業協同組合制度説明ページに事例発表の動画が紹介されています。

総務省　特定地域　検索

※この事例は「令和４年度特定地域づくり事業協同組合組成等支援委員会報告書」に掲載された令和４年８月19日時点の調査結果を基に作成したものです。

働くと雇用をサポート

全国ネットで出向・再就職を支援します

6つの取り組み

あなたのこと、企業のこと、わかっているからご紹介します。

1 離職する従業員の方の再就職をサポート

2 人材を確保したい企業をサポート

3 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート

4 雇用を維持するための在籍型出向をサポート

5 社員の人材育成やキャリアアップの出向をサポート

6 研修やセミナーで社員のスキルアップをサポート（有料）

マンガ
再就職支援

マンガ
キャリア人材バンク

費用は無料

公益財団法人 産業雇用安定センター 滋賀事務所
〒520-0051　大津市梅林 1-3-10　滋賀ビル 6 階
TEL 077-526-3991　FAX 077-526-2761

中小企業のみなさまのための

傷害共済

小さな掛金で大きな安心
会費は年額8,400円

加入して不時の傷害に備えましょう　●1日あたり約23円（おひとり）

「大工・左官・鈑金・瓦工・塗装・鳶・電気工事（高圧線工）・木材伐採・石材採掘・火薬製造および取扱の業種については年額12,000円」

補償内容：
ケガで死亡したとき……200万円
ケガで後遺症が残ったとき……268万円～10万円（１級～14級）
ケガで入院したとき……１日/5,000円
（但し101日目以降は……１日/2,000円）
ケガで医師の往診を受けたとき……１回/3,000円
ケガで通院したとき……１日/2,000円

お問合せ　滋賀県中小企業傷害共済会（滋賀県中小企業団体中央会内）　**TEL.077-511-1430**

お役立ち情報をメールでお届け

滋賀県中央会
メールマガジン
配信中!

本会では、中小企業組合および中小企業者向けのタイムリーな施策や助成事業、各種イベント等の情報をメールマガジンで隔週金曜日に配信しております。もちろん、配信は無料です！！

メールマガジン配信をご希望される方は、電子メールにて下記内容を明記の上、お申込み下さい。お待ち申しあげております。

●お申込みの必須記入事項
・宛　先：info@chuokai-shiga.or.jp
・件　名：メールマガジンの配信希望
・本　文：貴組合名または貴事業者名、メールマガジンを配信するメールアドレス

組合税務相談室 ちょっと教えてQ&A

税理士 山本 善通 氏

Question 非常勤役員の報酬

当組合の非常勤役員（理事及び監事）についての報酬は、期末において、通常総会で決議された金額を支払っています。いままで所轄税務署長に対して「事前確定届出給与」の届出をしていませんが、損金算入は認められますか？

また、併せて、使用人兼務役員である事務局長への給与の支払いの留意点について教えてください。

Answer

【概要】

〈非常勤役員への報酬の支払いについて〉

平成18年度の税制改正において、役員給与は原則として損金不算入となりましたが、「定期同額給与」については、損金算入が認められるところとなりました。具体的には、支給時期が1月以下の一定の期間ごとである定期給与で、その事業年度の各支給時期における支給額が同額であるもの等を要件としています。（法34条1項1号）

また、「事前確定届出給与」についても損金算入が認められますが、事前確定届出給与とは、役員の職務につき、所定の時期に確定額を支給する旨の定めに基づいて支給する給与で、一定の届出期限までに所轄税務署長に届出をしている給与であります。（法34条1項2号）

御質問の「非常勤役員の報酬」については、当初は例外とされていませんでしたが、翌年の平成19年に改正され、基本通達9-2-12の㈜において、次のように定められました。

「㈜非常勤役員に対し所定の時期に確定額を支給する旨の定めに基づいて支給する年俸又は期間俸等の給与のうち、次に掲げるものは、法第34条第1項第2号《事前確定届出給与》に規定する給与に該当する。

⑴　同族会社に該当しない法人が支給する給与

⑵　同族会社が支給する給与で令第69条第2項《事前確定届出給与の届出》に定めるところに従って納税地の所轄税務署長に届出をしているもの」

したがって、協同組合の非常勤役員の報酬は、上記⑴の通り、同族会社に該当しないので、届出をしなくてもよい事になります。

〈使用人兼務役員である事務局長への給与について〉

使用人兼務役員（事務局長）の給与は、使用人部分と役員部分に分けられます。使用人部分については、「類似する職務を行う使用人の給与」から算定します。この場合において、その使用人兼務役員が現に従事している使用人の職務の内容等からみて、比準すべき使用人として適当とする者がいないときは、その使用人兼務役員が役員となる直前に受けていた給与の額、その後のベースアップ等の状況、使用人のうち最上位にある者に対して支給した給与の額等を参酌して、適正に見積もった金額によることができます。（基通9-2-23）

また、役員部分は、定款または定時総会の決議により役員部分を決定します。したがって、使用人部分と役員部分の合計が使用人兼務役員（事務局長）の給与となります。

使用人兼務役員の役員部分の賞与は原則として損金算入できませんが、「事前確定届出給与」として賞与の支給日、支給額を定めて届ける事で、損金算入が可能となります。

商工中金の
中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

大津支店 〒520-0047 大津市浜大津1-2-22 **TEL:077(522)6791**
彦根支店 〒522-0073 彦根市旭町9-3 **TEL:0749(24)3831**

人を思う。未来を思う。
商工中金

ポリテクセンター滋賀主催　生産性向上支援訓練

◇◆◇　年間　600社・1,000名様を超える方々にご利用いただいています　◇◆◇

内容よし！ 講師よし！ コスパよし！

満足度 99%

業務を細分化する手法が利用できそう

プレゼン資料作りが苦手だったので、役に立った。

経験談を交えて説明されたのがよかった

自分に足りないものや将来の目標とするイメージが見えてくるなど、参加者にとっては良い経験となっている。参加者には、学んだことを自部門のメンバーに展開してもらっている。
（N社・米原市）

開催日	コースNo	コース名	内容	会場/実施機関
1/26	S20	継承する技能・ノウハウの明確化	ノウハウ伝承の重要性/職業能力の洗い出し/職業能力の明確化	ポリテクセンター滋賀（大津市）/一般社団法人日本経営協会　関西本部
2/7	021	業務効率向上のための時間管理	タイムマネジメント手法/時間管理とタスク管理	ポリテクセンター滋賀（大津市）/パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
2/9	045	成功するオンラインプレゼンテーション	オンラインによるプレゼンテーション技術概論/オンライン形式に適した資料作成、発表プレゼンテーション技法、環境	ポリテクセンター滋賀（大津市）/株式会社東京ナレッジプラン

▣ 申込方法等
① 「受講申込書」のご提出（FAX・電子メール）
「受講申込書」は、当センターホームページからダウンロードしてご利用ください。
② 請求書到着
③ 受講料のお振り込み（開講日の14日前まで）

▣ 申込締切
開講日の14日前
定員を満たしていない場合は開講日の7日前

▣ 受講料（おひとりさま）
No.045　2,200円（税込み）
上記以外　3,300円（税込み）

▣ 対象者
事業主の指示により受講する従業員の方
（個人での受講はできません。）

▣ 定員
各コース 15名（先着順）

▣ 訓練時間
9：30～16：30

▣ 年間スケジュールや各コースの詳しい内容をホームページに掲載しています。パンフレットをご希望の事業所様は、電子メールで送付先をご連絡ください。

滋賀県よろず支援拠点＆独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構滋賀支部共催セミナー

令和5年度ひとを活かす組織づくりのヒントシリーズ

参加費 無料

会場 ポリテクセンター滋賀

1/18（木）13：30～15：00　高年齢者・障害者雇用の支援制度　【定員】２０名

2/28（水）10：00～12：00　人材育成のポイント「3次元CAD」受講体験付き　【定員】１０名

内容や申込方法はホームページをご参照ください。

らしく、はたらく、ともに JEED
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　滋賀支部
ポリテクセンター滋賀　生産性向上人材育成支援センター
〒520-0856　滋賀県大津市光が丘町３－１３　JR石山駅から徒歩10分・京阪唐橋前駅から徒歩3分
（担当）生産性センター業務課　TEL：077－537－1176　https://www3.jeed.go.jp/shiga/poly/
FAX：077－537－1215　E-mail：shiga-seisan@jeed.go.jp

全国の繊維関係者が持続可能なものづくりを目指して「産地越境プロジェクト」初開催

浜縮緬工業協同組合

浜縮緬工業協同組合（理事長 吉田和生 氏）では、10月13日㈮、14日㈯に長浜市において、同市役所とともに「産地越境プロジェクト」を開催されました。全国33自治体で構成されている「シルクのまちづくり市区町村協議会」の総会に合わせて企画されたもので、繊維の製造業・小売業、和装関連だけでなく他業種の職人やクリエイターらも交え業界や業種の垣根を越え、ものづくりの継承と振興について意見が交わされました。

13日は組合の精練加工場を含む市内絹織物工場の見学の後、北ビワコホテルグラツィエにおいて産地からのプレゼンとグループディスカッションが催され、吉田理事長は「あらゆる産地・業種・分野で連携し、個々の産地だけでは難しい生産や販売の課題を解消したい」と述べられました。

14日には市内で開催された「長浜きもの大園遊会」や「浜ちりめん白生地展示会」に誘導され、長浜の街並みとともに当産地の特色や技術力を紹介されました。

グループディスカッションの様子

市内で開催された白生地展示会

組合webサイト
https://hamachirimen.jp/

滋賀県の協同組合としては初となるグッドデザイン賞を受賞

滋賀県麻織物工業協同組合

滋賀県麻織物工業協同組合（理事長 川端正隆 氏）では、10月５日㈭、滋賀県の協同組合としては初となるグッドデザイン賞を受賞されました。

対象となったのは、スローライフを実現していきたいニーズに応えるための天然繊維である「麻のカーテン」。国内外のデザイン関連分野の第一人者で編成された審査委員会によって決定されたもので、手染めと機械染めの併用、生地の風合いを活かす「近江ちぢみ」の活用、「近江上布」のオリジナル性のデザインがポイントとなりました。審査員のコメントでは、組合が維持する伝統工芸技術そのものが評価され、本製品が普及することで地域固有の窓辺の風景を創り出し、その地域性が家並から感じ取れることを期待されています。

組合では、伝統に基づいたデザインを基に、今後も地域固有の文化として魅力ある商品づくりを継続される予定です。

受賞したカーテン

カーテンの使用風景

組合webサイト
https://omi-jofu.com/

安全なまちづくり特集

恒例のハロウィンイベントに併せて交通安全標語を募集して表彰

彦根巡礼街道商店街振興組合

彦根巡礼街道商店街振興組合（理事長 大塚恵昭 氏）では、10月31日㈫、彦根市・彦根ベルロード住宅博駐車場において「ベルロードハロウィン祭り」を開催されました。

1.6㎞にわたるロードサイドに店舗が並び「ベルロード」と呼ばれている同商店街では毎年10月のハロウィンイベントが恒例となっており、地元高校の吹奏楽部による演奏や芸人の漫才ステージなどの他、飲食ブースの利用で豪華景品が当たる抽選会が催され、平日の夕方の中、多くの来場者で賑わいました。

また、今年は仮装コンテストに併せて予め募集されていた交通安全標語の表彰があり、優秀作品の発表と賞の授与が行われました。最優秀賞は「ベルロード　今日も無事故の鐘が鳴る」で、この標語は幕にされて商店街中に掲示される予定です。商店街では賑わいの創出はもとより、来街者に今後も安心して楽しく利用してもらえる事業を継続していく方針となっています。

仮装して挨拶する大塚理事長

仮装コンテスト表彰式の様子

組合webサイト
https://bellroad.jp/

未来への滋賀の屋外広告と景観を考える『第10回びわこタウンミーティング』 開催

滋賀県広告美術協同組合

滋賀県広告美術協同組合（理事長 和田光平 氏）では、11月16日㈭、湖南市・市民学習交流センターにおいて、「第10回タウンミーティング」を開催されました。この取組は、屋外広告物に関わる行政や業界関係者等が一堂に会し、賑わいある街・優良な景観・安心安全なまちづくりを共に考え実現していくことを目的とされています。

今回は、広告景観の論客として多方面で活躍されている富山大学副学長の武山良三 氏から「屋外広告と景観まちづくり」と題し講演が行われた後、良好な景観づくりと活力あるまちづくりを同時に達成する「滋賀県らしい屋外広告のあり方・役割とその課題」について参加者によるグループワークが行われるなど、業界と行政が共に考え、共通理解・認識を深める機会となりました。

組合では県内の市町においてタウンミーティングを今後も継続的に実施される方針となっており、次年度に向けても協議が進められています。

講師 武山良三 氏

グループワークの様子

組合webサイト
https://www.shikobi.com/

イベントや記念事業、研修会開催、社会貢献活動など、組合様の特徴ある活動について情報をお寄せください。

発行　滋賀県中小企業団体中央会　〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21（5階）
TEL 077-511-1430　FAX 077-502-0111　URL　https://chuokai-shiga.or.jp